

項番	項目	ポイント	注記	Q&A
I 継続教育		* 図書館関連の学協会が主催・後援している教育目的の研修会などの受講を対象とする。 * 対象となる研修会の例は「I 継続教育 別表」にある。		Q2-5 Q3-1
I-01	JMLAコア研修 受講	2～3/科目	科目によりポイント数は異なる。講義科目:コア 1、コア 3、コア 4、コア 6 は各 2 ポイント。演習科目:コア 2、コア 5は各 3ポイント。1 日単位での参加場合は、履修した科目のポイントの合計。	
I-02	JMLA学術集会[研究発表]受講	1 / 時間	日程に応じるため毎回ポイント数は異なる。1時間未満は切り捨て。発表者は、「I. 継続教育への受講」のポイントを加点できる。	
I-03	JMLA学術集会[CEコース], JMLA-CEコース(登録CEコース) 受講	1 / 時間	1時間未満は切り捨て。	
I-04	JMLA地区研修会 受講	1 / 時間	1時間未満は切り捨て。	
I-05	JMLA分科会 受講	2 / 日		
I-06	JMLAが主催するその他の研修機会	1 / 時間	1時間未満は切り捨て。	
I-07	図書館関連団体主催の研修会等 受講	1 / 時間	保健、医療関連団体の研修会を含む。1時間未満は切り捨て。	
I-08	図書館関連団体主催の長期研修コース 受講	15 / コース	同上。コースは1週間以上のものをさす。	
I-09	図書館関連団体主催の国際セミナー 受講	2/ 時間	保健、医療関連団体の研修会を含む。	
I-10	図書館関連団体主催の国際教育コース 受講	20 / コース	同上。コースは1週間以上のものをさす。	
I-11	長期海外研修(半年以上)	20		
I-12	短期海外研修(半年未満)	10		
I-13	大学・大学院関連科目 受講、聴講、在学、など	4 / 単位	大学院学位取得・課程修了の場合は「Ⅶその他」に記入のこと。	
I-14	図書館関連団体主催の遠隔研修 受講	1 / 3時間	時間数は標準学習時間のこと。	
I-15	図書館関連団体主催の見学会	1	JMLA病院部会見学会など。ただし、研修会に付属の場合は除く。	
項番	項目	ポイント	注記	Q&A
II 業績 教育		* 図書館関連の学協会が主催・後援している研修機会での講師などの教育活動を対象とする。授業の講師も含む。 * 対象となる研修会の例は「II 業績 教育 別表」にある。		
II-01	JMLA学術集会CEコース, JMLAコア研修講師	2 / 時間	*原則として1時間未満は切り捨て 例)1時間30分の場合は2ポイント *ただし、1つの講義時間が1時間未満の場合は次のとおり。 ①30分未満は0ポイント ②30分以上60分未満は1ポイント ③それぞれ別の内容の講義を30分以上60分未満を担当した場合は加算しないで独立してカウント 例)30分の講義で内容の違うものを3回担当した場合は3ポイント *アシスタントはポイント対象外	
II-02	JMLA会議 講師	2 / 時間		
II-03	JMLA地区研修会 講師	2 / 時間		
II-04	認定資格運営委員会が認めた関連専門団体主催の研修会等 講師	2 / 時間		
II-05	授業の講師	2 / 時間		
「I 業績 継続教育」 別表: 対象となる研修会の例		* ここにあるものはあくまでも例である。		
「II 業績 教育」 別表: 対象となる研修会の例		* ここにあるものはあくまでも例である。		
	・生物医学図書館員研究会			
	・日本病院ライブラリー協会研修会			
	・近畿病院図書室協議会研修会			
	・日本看護図書館協会研修会			
	・日本薬学図書館協議会研究集会			
	・日本薬学会薬学図書館協議会シンポジウム			
	・専門図書館協議会研修会			
	・私立大学図書館協会 研修会、研究大会			
	・国立大学図書館協会シンポジウム			
	・大学図書館職員短期研修			
	・大学図書館職員長期研修			
	・図書館総合展フォーラム		ベンダー主催の商品説明会は除く	
	・国公私立大学図書館協力委員会 ・日本図書館協会大学図書館部会共催シンポジウム(図書館総合展)			
	・各地域の研修会 ・セミナー(東京西地区大学図書館相互協力連絡会研修セミナー等)			
	・MLA CE Course (米国)			

項番	項目	ポイント	注記	Q&A
Ⅲ 業績 出版活動		*ポイント詳細は「Ⅲ 業績 出版活動」別表にある。		Q2-9 Q2-10
別表の項番を記載すること	論文	5～50	原著論文、総説論文、解説・事例報告、短報を含む。	Q2-9
	翻訳論文	5～15	論文集全体の翻訳は「翻訳図書」として扱う。	Q2-9
	記事	1～5	巻頭言、論説、解説、会合記事、書評、ソフトウェアの評価記事など。	
	図書	10～70	編集者は20、監修者は対象としない。分担執筆の場合は本人の担当範囲を明記する。	
	翻訳図書	10～30	編集者は20、監修者は対象としない。分担執筆の場合は本人の担当範囲を明記する。	
	報告書	5～20	政府機関、その他の学術機関・団体助成金による調査・研究であり、研究総括責任者・分担研究者・研究協力者の区分を明記する。	Q2-8
	マニュアル、目録類	10～20	所属機関の業務として行った場合は対象外	
	Webサイトの編集・管理	10～20/年	医学図書館や医学情報サービス活動のために広く公開されているもの。業務の一環として担当している場合は対象外。	
データベースの構築、ソフトウェアの開発、教育メディアの制作	10～20/年	医学図書館や医学情報サービス活動のために広く公開されているもの。業務の一環として担当している場合は対象外。		
その他	1～10	展示、業務として行ったイベント、プログラム		
「Ⅲ 業績 出版活動」別表：ポイント詳細				
01. 論文等(学術団体または商業出版社が刊行する学術雑誌に掲載)(電子雑誌を含む)				Q2-8 Q2-9 Q2-10
01-a. 目的、解析方法、結果、考察が明瞭に記され、必要な関連文献が適切に引用されている調査・研究論文				
01-a-1 外国語による論文				
Ⅲ-01-a-1-1	本人の単一著者による論文	30～50	Science、Nature、JMLAのレベルに掲載は50-40ポイント	
Ⅲ-01-a-1-2	複数著者で本人が筆頭著者となっている論文	30～40		Q2-3
Ⅲ-01-a-1-3	複数著者で本人が筆頭著者ではない論文	20～30		
a-2 日本語による論文				
Ⅲ-01-a-2-1	本人の単一著者による論文	20～30	「医療情報学」、日本医学会分科会誌のレベルに掲載は30ポイント。「医学図書館」は25ポイント。その他の関連業界の雑誌は20ポイント。	Q2-3
Ⅲ-01-a-2-2	複数著者で筆頭著者となっている論文	15～20		
Ⅲ-01-a-2-3	複数著者で本人が筆頭著者ではない論文	10～15		
01-b. 上記 a には該当しない原著性が明白でない調査・研究論文(論文の言語を問わない)たとえば「〇〇の最近の動向」のような紹介論文				
Ⅲ-01-b-1	本人の単一著者による論文	20		
Ⅲ-01-b-2	複数著者で筆頭著者となっている論文	15		
Ⅲ-01-b-3	複数著者で本人が筆頭著者ではない論文	10		
01-c 総説論文(論文主題に関する主要な文献が適切に引用されている)				
01-c-1 外国語による論文				
Ⅲ-01-c-1-1	本人の単一著者による論文	30～50		
Ⅲ-01-c-1-2	複数著者で筆頭著者となっている論文	30～40		Q2-3
Ⅲ-01-c-1-3	複数著者で本人が筆頭著者ではない論文	20～30		
01-c-2 日本語による論文				
Ⅲ-01-c-2-1	本人の単一著者による論文	20～30		
Ⅲ-01-c-2-2	複数著者で筆頭著者となっている論文	15～20		Q2-3
Ⅲ-01-c-2-3	複数著者で本人が筆頭著者ではない論文	10～15		
01-d. 解説・論説				
01-d-1 外国語による解説・論説				
Ⅲ-01-d-1-1	本人の単一著者による解説・論説	20		
Ⅲ-01-d-1-2	複数著者で筆頭著者となっている解説・論説	15		
Ⅲ-01-d-1-3	複数著者で本人が筆頭著者ではない解説・論説	10		
01-d-2 日本語による解説・論説				
Ⅲ-01-d-2-1	本人の単一著者による解説・論説	15		
Ⅲ-01-d-2-2	複数著者で筆頭著者となっている解説・論説	10		
Ⅲ-01-d-2-3	複数著者で本人が筆頭著者ではない解説・論説	5		
01-e. 短報・研究ノート(Short/Brief communications, オリジナリティのあるもの)				
01-e-1 外国語による短報・研究ノート				
Ⅲ-01-e-1-1	本人の単一著者による短報・研究ノート	20		
Ⅲ-01-e-1-2	複数著者で筆頭著者となっている短報・研究ノート	15		
Ⅲ-01-e-1-3	複数著者で本人が筆頭著者ではない短報・研究ノート	10		
01-e-2 日本語による短報				
Ⅲ-01-e-2-1	本人の単一著者による短報・研究ノート	15		
Ⅲ-01-e-2-2	複数著者で筆頭著者となっている短報・研究ノート	10		
Ⅲ-01-e-2-3	複数著者で本人が筆頭著者ではない短報・研究ノート	5		
01-f. 翻訳論文				
Ⅲ-01-f-1	本人の単独による翻訳論文	15		
Ⅲ-01-f-2	複数著者で筆頭著者となっている論文	10		
Ⅲ-01-f-3	複数著者で本人が筆頭著者ではない論文	5		
01-g. 事例報告				
01-g-1 外国語による事例報告				
Ⅲ-01-g-1-1	本人の単一著者による事例報告	10		
Ⅲ-01-g-1-2	複数著者で筆頭著者となっている事例報告	8		
Ⅲ-01-g-1-3	複数著者で本人が筆頭著者ではない事例報告	5		
01-g-2 日本語による解説・事例報告				
Ⅲ-01-g-2-1	本人の単一著者による事例報告	8		
Ⅲ-01-g-2-2	複数著者で筆頭著者となっている事例報告	5		
Ⅲ-01-g-2-3	複数著者で本人が筆頭著者ではない事例報告	3		
01-h. 記事				
Ⅲ-01-h	記事(巻頭言、会合報告、書評、ソフトウェアの評価記事、など)	1～5	自館の広報誌の記事は対象としない	Q2-3

02. 図書(医学図書館活動・サービスに関連する内容を有する成書)				Q3-3
02-a. 外国語による単行書の出版				
III-02-a-1	図書全体を本人が単独で執筆	40~70		
III-02-a-2	図書全体を複数の著者で執筆し、筆頭著者となっている	30~50		Q2-3
III-02-a-3	図書全体を複数の著者で執筆し、本人が筆頭著者ではない	20~30		
III-02-a-4	図書全体の編集者となっている	20	監修者は対象としない	
02-b. 外国語による図書の一章を執筆				
III-02-b-1	本人の単一著者による執筆	30~50		
III-02-b-2	複数著者で本人が筆頭著者となっている	20~40		Q2-3
III-02-b-3	複数著者で本人が筆頭著者ではない	20~30		
02-c. 日本語による単行書の出版				
III-02-c-1	図書全体を本人が単独で執筆	30~40		
III-02-c-2	図書全体を複数の著者で執筆し、本人が代表著者となっている	20~30		Q2-3
III-02-c-3	図書全体を複数の著者で執筆し、本人が代表著者ではない	15~20		
III-02-c-4	図書全体の編集者となっている	20	監修者は対象としない	
02-d. 日本語による図書の一章を執筆				
III-02-d-1	本人の単一著者による執筆	20~30		
III-02-d-2	複数著者で本人が筆頭著者となっている	15~20		Q2-3
III-02-d-3	複数著者で本人が筆頭著者ではない	10~15		
02-e. 翻訳図書				
III-02-e-1	図書全体を本人が単独で翻訳、出版	20~30		
III-02-e-2	図書全体を複数の著者で翻訳し、本人が筆頭翻訳者となっている	15~25		Q2-3
III-02-e-3	図書全体を複数の著者で翻訳し、本人が筆頭翻訳者ではない	10~15		
III-02-e-4	翻訳図書の編集者となっている	20	監修者は対象としない	
03. 報告書(政府機関やその他の機関・団体からの助成金による調査・研究)				
III-03-a	本人が研究代表者であり、その責任からの総括報告を執筆	20		Q2-8
III-03-b	本人が分担研究者であり、その責任からの報告を執筆	15	分担研究者と共同研究者の区分がない場合は、後者をbとする	
III-03-c	本人が共同研究者であり、報告執筆に参加している	5		
04. マニュアル、目録類の編集(たとえば協会出版の「PubMedの使い方」) 所属機関の業務として行った場合は対象外				
III-04-a	本人が単独で執筆(編集)した	20		
III-04-b	複数者による共同編集である	10		
05. Webサイトの編集・管理(医学図書館活動・サービスに有益であり、広く公開されている) 所属機関の業務として行った場合は対象外				
III-05-a	本人が単独で計画し、実行した	20	1年間の活動に対して	
III-05-b	共同で計画し、実行した	10	1年間の活動に対して	
06. データベースの構築、ソフトウェアの開発、教育用メディアの制作(医学図書館活動・サービスに有益であり、広く公開されている) 所属機関の業務として行った場合は対象外				
III-06-a	本人が単独で計画し、実行した	20		
III-06-b	共同で計画し、実行した	10		
07. その他				
III-07-a	本人が単独で計画し、実行した	1~10		
III-07-b	共同で計画し、実行した	1~10		
項番	項目	ポイント	注記	Q&A
IV 業績 会議(学会・研究会)への参加			* 図書館関連の学協会が主催・後援している会議での発表、参加などを対象とする。 * 対象となる学会・研究会の例は「IV業績 会議への参加」別表にある。	Q2-11 Q2-12
IV-01	国際レベルの会議 演者	20	2名以上の共同演目の場合は発表者も含め全員がIV-03共同演者	
IV-02	国際レベルの会議 ポスター	15		
IV-03	国際レベルの会議 共同演者	5	2名以上の共同演目の場合は発表者も含め全員がIV-03共同演者	Q2-12
IV-04	国際レベルの会議 共同ポスター	3		
IV-05	国際レベルの会議 司会・議長・座長	8		
IV-06	全国レベルの会議 演者	10	2名以上の共同演目の場合は発表者も含め全員がIV-08共同演者	
IV-07	全国レベルの会議 ポスター	8		
IV-08	全国レベルの会議 共同演者	4	2名以上の共同演目の場合は発表者も含め全員がIV-08共同演者	Q2-12
IV-09	全国レベルの会議 共同ポスター	2		
IV-10	全国レベルの会議 司会・議長・座長	4		
IV-11	JMLA学術集会[研究発表]演者	7	2名以上の共同演目の場合は発表者も含め全員がIV-12共同演者	
IV-12	JMLA学術集会[研究発表] 共同演者	4	発表者は I-02 JMLA医学図書館研究会、JMLA学術集会「研究発表」受講ポイントを加点できる。	Q2-12
IV-13	<欠番>			
IV-14	JMLA学術集会[研究発表] 司会・座長	3		
IV-15	JMLA分科会 話題提供者	4		Q2-12
IV-16	JMLA分科会 司会・座長	3		
IV-17	地区の会議 演者	6	JMLA以外の地区会 4ポイント; 2名以上の共同演目の場合は発表者も含め全員がIV-18共同演者	
IV-18	地区の会議 共同演者	3	JMLA以外の地区会 2ポイント	Q2-12
IV-19	地区の会議 ポスター	2	JMLA以外の地区会 2ポイント	
IV-20	地区の会議 司会・議長・座長	3	JMLA以外の地区会 2ポイント	
IV-21	会議 参加	1 / 開催日	上限、年間3ポイント。JMLA総会を含む。	
IV-22	展示・デモンストラータ	2		
「IV業績 会議への参加」別表: 対象となる学会・研究会の例			* ここにあるものはあくまでも例である。	
図書館関連の学協会が主催・後援している大会・研究会等を対象とする。 例は以下のとおり。				
・医学情報サービス研究大会				
・医療情報学連合大会				
・日本図書館情報学会 研究大会				
・情報メディア学会 研究大会等				
・三田図書館・情報学会研究大会				
・情報プロフェッショナルシンポジウム(INFOPRO)				
・MLA Annual Meeting (米国)				
・ICML: International Congress on Medical Librarianship				

項番	項目	ポイント	注記	Q&A
V 業績 専門学協会活動への参画			* JMLAほか図書館関連の専門学協会での委員・役員活動などを対象とする。 * ポイント詳細は「V 業績 専門学協会活動への参画」別表による。	Q2-12
を別 項表 使用 の	委員・役員等	1~12		
「V 業績 専門学協会活動への参画」別表: ポイント詳細		* ここにあるものはあくまでも例である。		
ポイントはいずれも1年間相当の活動に対するものである。				
国際図書館関連学協会活動については、各ポイントにプラス2とする。				
01. 日本医学図書館協会関連				
V-01-a	会長	12	代表者相当。1年間の活動に対して	
V-01-b	理事・監事	10	役員相当。1年間の活動に対して	
V-01-c	評議員	9	諮問委員など。1年間の活動に対して	
V-01-d	委員会委員長(「医学図書館」編集委員長含む)	9	1年間の活動に対して	
V-01-e	JMLAコア研修・JMLA学術集会実行委員長	9	各回の活動に対して	
V-01-f	委員会委員(「医学図書館」編集委員含む)	7	1年間の活動に対して	
V-01-g	JMLAコア研修・JMLA学術集会実行委員	7	各回の活動に対して	
V-01-h	地区会委員、「医学図書館」編集協力委員	5	1年間の活動に対して	
V-01-i	分科会コーディネーター	2	各回の活動に対して	
V-01-j	分科会公式記録	2	各回の活動に対して	
V-01-k	JMLAコア研修・JMLA学術集会協力員	1	各回の活動に対して	
V-01-l	総会協力員	1	各回の活動に対して	
V-01-m	診療ガイドラインワーキンググループ	1/5CQ*1DB	3CQ未満はゼロ。半端は切り上げ。 例) 3CQ→5CQで1ポイント、6CQ→10CQで2ポイント	
V-01-n	ワーキンググループグループ長 (診療ガイドラインWGを除く)	7	所管の委員会委員と兼ねる場合は重複して申請することはできない。	
V-01-o	ワーキンググループ メンバー(診療ガイドラインWGを除く)	5	所管の委員会委員と兼ねる場合は重複して申請することはできない。	
02. 図書館関連全国的組織		日図協、薬図協、看図協、日本病院ライブラリー協会、専門図書館協議会、近畿病院図書室協議会、全国患者図書サービス連絡会など		
V-02-a	会長など	10	代表者相当。1年間の活動に対して	
V-02-b	理事・監事など	8	役員相当。1年間の活動に対して	
V-02-c	委員会委員長(機関誌編集長含む)	7	1年間の活動に対して	
V-02-d	委員会委員(機関誌編集委員含む)	5	1年間の活動に対して	
V-02-e	地区役員・協力委員	3	1年間の活動に対して	
03. 図書館関連地域組織		北海道病院ライブラリー研究会、東海地区医学図書館協議会、など		
V-03-a	会長など	7	代表者相当。1年間の活動に対して	
V-03-b	幹事など	5	役員相当。1年間の活動に対して	
V-03-c	委員など	3	1年間の活動に対して	
04. 図書館関連学会・大会・研究会		全国図書館大会、医学情報サービス研究大会、など		
V-04-a	(全国規模)会長など	8	代表者相当。1年間の活動に対して	
V-04-b	(全国規模)幹事など	7	役員相当。1年間の活動に対して	
V-04-c	(全国規模)実行委員長	7	1年間の活動に対して	
V-04-d	(全国規模)実行委員	5	1年間の活動に対して	
V-04-e	(全国規模)協力委員	3	1年間の活動に対して	
V-04-f	(地域規模)代表/幹事など	5	役員相当。1年間の活動に対して	
V-04-g	(地域規模)実行委員	3	1年間の活動に対して	
VI ヘルスサイエンス分野の図書館実務経験				
VI-01	2年~5年未満	2 or 4	JMLA非会員 2ポイント; JMLA正会員 4ポイント	
VI-02	5年~10年未満	3 or 5	JMLA非会員 3ポイント; JMLA正会員 5ポイント	
VI-03	10年以上	5 or 7	JMLA非会員 5ポイント; JMLA正会員 7ポイント	
VII その他		* 図書館関連の資格や受賞経歴などを対象とする		
VII-01	司書資格(※司書教諭資格は司書資格に該当しない)	10	ポイント対象期間に拘らず、取得後初回申請時のみ	
VII-02	JMLA協会賞	12	団体受賞の場合は6	Q2-15 Q2-16
VII-03	JMLA奨励賞	7	団体受賞の場合は4	Q2-15 Q2-16
VII-04	関連他団体の受賞	5	団体受賞の場合は3	Q2-16
VII-05	図書館情報学関連修士 学位取得・課程修了	15	ポイント対象期間に拘らず、取得後初回申請時のみ	
VII-06	図書館情報学関連博士 学位取得・課程修了	20	ポイント対象期間に拘らず、取得後初回申請時のみ	
VII-07	認定資格運営委員会が認めた図書館情報学以外の修士 学位取得・課程修了	12	ポイント対象期間に拘らず、取得後初回申請時のみ	
VII-08	認定資格運営委員会が認めた図書館情報学以外の博士 学位取得・課程修了	17	ポイント対象期間に拘らず、取得後初回申請時のみ	
VII-09	認定資格運営委員会が認めた資格	2~8	ポイント対象期間に拘らず、取得後初回申請時のみ	Q2-3 Q2-14